

茨建協

ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2024.2 NO.655



茨城のお祭り

水戸の梅まつり 2月10日(土)~3月17日(日)

120年以上の歴史をもつ「水戸の梅まつり」。会場となる偕楽園には約100品種3000本もの梅が、春の訪れを告げるかのように咲き競う。「早咲き」「中咲き」「遅咲き」と観梅を楽しむことができる。梅まつり期間中は野点茶会、ひな流し、武道演武、大撮影会、俳句大会などが行われる。千波湖畔や弘道館などでも関連行事が開かれる。

CONTENTS

- 令和6年新春賀詞交歓会を開催
- 12支部長が新年の抱負
- いばらき建設企業ガイドブックが完成
- C C I 茨城が建設体験学習

全体で大きく飛躍する年に

令和6年 新春賀詞交歓会を開催

本会は1月11日、茨城県建設技術管理センター、茨城県建設業協同組合と共に令和6年新春賀詞交歓会を水戸市の水戸京成ホテルで開催しました。来賓として大井川和彦県知事や本県選出国會議員、県議會議員、県幹部職員、県内建設関連各団体の代表などが出席。被災地の早期復興を願うとともに、業界の働き方改革などを進め大きな飛躍の年とすることを決意しました。

開会前には、能登半島地震で亡くなった方々の冥福を祈り、参加者が黙とうを捧げました。

主催者あいさつで石津健光会長は、能登半島地震による被災者にお見舞いの言葉を述べました。



石津会長

また頻発している自然災害や鳥インフルエンザに協会として対応したことに触れ、「地域の守り手という地域建設業の責務を果たすことができました」と、活動に尽力した関係者に感謝の意を表しました。

そして「地域の安全・安心を守るという社会的使命を果たしつつ、永続する業界となるためには、経営基盤を強化することが必要になる。担い手の確保・育成や働き方改革を着実に推進し、DXへの対応などを進めていかなければならない。若者にとって魅力ある産業となるよう、新しい3K（給料が良く、休暇が取れ、希望が持てる）に『カッコいい』を加えた新4Kの実現への取り組みを進めてまいりたい」と抱負を披露。

また県内で交通インフラの整備が進んでいることに触れ「本年は辰年であり、本県が昇り竜のごとく大きく飛躍することを期待している」とあいさつしました。



本年の前進を誓い合った賀詞交歓会



出席者全員で乾杯し、飛躍を期しました

来賓からは大井川知事や額賀福四郎衆議院議長など国会・県議會議員などが祝辞を披露。本会の発展に期待を寄せました。

その後、高橋靖水戸市長の発声で乾杯。本年の飛躍を誓い合いました。

賀詞交歓会 来賓から祝辞

本会の前進に期待の声



半村登 茨城県議会議員

県の発展のためには、地元からの厚い信頼と優れた技術力を備えた地域建設業の力が不可欠である。県民が幸せを実感でき、活力あるいばらきづくりにご協力をお願いしたい。



額賀福四郎 衆議院議長

能登半島地震や飛行機衝突事故の教訓として危機管理の重要性を痛感した。本県では交通インフラの整備が進み、県内の発展の土台が整った。飛躍へ頑張っていたいただきたい。



佐藤信秋 参議院議員

これからは国土強靱化である。設計労務単価も上がり、賃金も上がれば良いが、インフレがある。インフレ分をプラスすべきと言っている。現場で働く人の賃金を上げないと入職してこない。



大井川和彦 茨城県知事

昨年の大雨被害や能登半島地震の応急復旧に建設業が尽力していただき、地域建設業の大切さを痛感した。県としても地域建設業の健全な発展のために力を尽くしていく。



葉梨衛 県議会議員 (自由民主党茨城県支部連合会筆頭副会長)

災害時には建設業の皆さんに出動していただき、感謝申し上げます。皆さんが仕事をしやすい環境づくりを進めていく。自民党としても地域の発展、業界の発展のために全力を尽くす。



田所嘉徳 衆議院議員

能登半島地震では、建設業が必死に復旧・復興に当たっている。これから、ますます国土強靱化が重要。その加速化の議論も進んでいる。素晴らしい発展の年にしていきたい。



加藤明良 参議院議員

地域の安全・安心を守り、インフラ整備に尽力いただいている業界の方々に感謝申し上げます。地域建設業が活躍できる環境づくりに取り組んでまいりたい。さらなるご活躍を願う。

12支部長が
本年の抱負

働き方改革進め、生産性向上を

水戸支部

下田 德行 支部長



働き方改革への対応、少子化などに伴う担い手の確保など建設業界の課題は多い。それを克服するため、経営者一人ひとりが真剣になって、経営の向上に取り組んでいこう。

太田支部

瀬谷 實 支部長



昨年の線状降水帯による応急復旧に対応できたのは、支部員の協力があってこそ。若年労働者の確保へ、ICT施工などの新技術活用で安定した経営基盤と適正な利益の確立に挑戦したい。

常陸大宮支部

高野 潔 支部長



管内のインフラをより良いものにしていくため、労働環境の改善に取り組む。DXなど技術は日進月歩で進み、吸収しなければならない。講習会などで皆さんと難局を乗り越えてまいりたい。

大子支部

大藤 博文 支部長



新年早々、悲惨な事故が続き、今まで以上に気を引き締めて仕事に努めていく。いかに生産性を上げていくかが課題。DX化をはじめ、新しいものに積極的に取り組んでいく。

高萩支部

秋山 光伯 支部長



昨年の線状降水帯発生による災害では、皆さまのおかげで迅速に対応することができた。災害復旧の本格化や働き方改革の施行が始まるが、力を合わせて課題をクリアしていきたい。

鉾田支部

羽生 義隆 支部長



資材高騰や担い手確保など課題に直面している。生産性の向上や地域貢献活動に取り組み、建設業の重要性を訴えていく。安定的な経営基盤を保つため、支部員との連携を一層強化したい。

潮来支部

松崎 里志 支部長



皆さんのおかげで去年は支部の運営ができた。最近では全国各地にいても、どのような災害に見舞われるのか分からない。今年も若手の雇用促進とさまざまな課題に一つ一つ取り組む。

竜ヶ崎支部

細谷 武史 支部長



建設業は、地域の守り手としての役割が増加しつつある。働き方改革を進め、現場の施工力を高めるため、ICT施工などで生産性を上げていく。今年も新しいことにチャレンジしていきたい。

土浦支部

小林 伸行 支部長



地震など元旦から恐ろしいものばかり見ているが、油断のないように、常に感謝をしていきたい。今年も支部がもっと健全で、優秀な経営者たちが育つような節目にしていきたい。

筑西支部

小薬 拓巳 支部長



行き違いや勘違いでミスを起こすリスクを連想し、指示の確認、リスク排除を徹底し、安全な工事運営をしていきたい。働き方改革を進め、ICT、DXなどで省力化を図る必要がある。

常総支部

中川 原 勇 支部長



災害に備え、迅速な対応ができるようにしていく。若年層の雇用が必要で、3Kに『かつこいい』を前面に出した魅力を伝えていく。安全第一、無事故無災害を基本に取り組んでまいりたい。

境支部

新井 孝 支部長



災害が発生した時は地域に安心安全を届けることを使命に、常に準備しておく。時間外労働時間の上限規制など課題があり、勉強会などを開催し、皆さんとともに解決していきたい。

舗装部会が賀詞交歓会

自負と責任持ち飛躍へ

本会の舗装部会（秋山光伯部会長）は1月18日、茨城県アスファルト合材協会（石津健光会長）との合同による令和6年賀詞交歓会を水戸市の水戸ドライブインひたちの里で開催。両会員や来賓など約60人が本年の飛躍を誓い合いました。



秋山部会長

秋山部会長は能登半島地震の被災者にお悔やみを述べ、「道路が整備されていなければ日常生活はもちろん経済も回らなくなることが、あらためて示された。長年、道路に関わる私たちはこれからも自負と責任をもって取り組みたい」と決意を新たにしました。

石津会長も「決められた法律の中でルールを守って一定の利潤が出せるよう、皆さんと知恵を出し合ってまいりたい」とあいさつしました。

実行予算の要点研修

土木工事積算セミナー



本会は1月30日、茨城県土木施工管理技士会、経済調査会と共に令和5年度の土木工事積算セミナーを水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。参加者は、積上積算の基本、施工パッケージ型積算方式の仕組みと契約変更など運用上の留意点、機械損料の基本的な考え方と施工条件に伴う補正方法などを研修。手計算による実務演習も行い、理解を深めました。

本年4月から 時間外労働の上限規制が適用されます

建設業については、36協定で定める時間外労働の上限規制の適用が猶予されていますが、令和6年4月1日からは、建設業にも時間外労働の罰則付き上限規制の適用が開始されます。

時間外労働の上限は、原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別な事情がなければ、それを越えることができません。

本会では各種講習会などで上限規制への適応に関する周知を行っています。上限規制の詳細は、茨城労働局労働基準部監督課のホームページに掲載されています。

※2019年4月1日、改正労働基準法が施行後、建設業では労働時間が他産業より大幅に多いことから5年間の猶予

2024年4月1日以降

- 時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別な事情がなければ、これを越えることができない。
- 臨時的な特別な事情があっても労使が合意する場合（特別条項）でも、下欄の上限を超える時間外労働・休日労働はできない。



- ・時間外労働が年720時間以内
- ・時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満
- ・時間外労働と休日労働の合計について、「2～6カ月平均」が全て1カ月当たり80時間以内
- ・時間外労働が月45時間を超えることができるのは、年6カ月まで

水戸支部
活動報告

ASPや遠隔臨場研修

水戸支部（下田德行支部長）は1月23日、水戸市建設業協同組合と共に情報共有システム（ASP）と遠隔臨場に関する勉強会を水戸市の茨城県建設センターで開催。参加した経営者や技術者は、県の働き方改革や生産性向上への取り組みの説明を受け、県が採用している受発注者間情報共有システムの仕組みや利点、基本操作、基本的なルール、利用の流れなどを研修しました。



7社25人の栄誉称える

土浦支部長表彰式を挙行

土浦支部（小林伸行支部長）は1月11日、令和5年度の支部長表彰式をつくば市のホテルグランド東雲にて行いました。茨城県表彰受賞の7社3人と、県土浦土木事務所表彰の受賞技術者22人に表彰状と記念品を贈呈し、栄誉を称えました。

小林支部長は「現場の災害等もなく無事に優秀な成績をあげて成功された。今後も今回の点数以上を取れるような仕事をしていただきたい」とあいさつしました。

表彰者は次の通りです（敬称略）。

【知事表彰】◆池田技建工業(株)

【知事表彰主任（監理）技術者】◆関隆行（小桜建設(株)）

【知事特別賞表彰「若手・女性技術者活躍賞」】

◆須貝望美（日東エンジニアリング(株)）

◆田寄雄士（池田技建工業(株)）

【農林水産部長表彰】◆(株)ノジリ土建

【土木部長表彰】

◆日東エンジニアリング(株) ◆ヤシマ建設(株)

◆小桜建設(株) ◆白田組土木(株)

【企業局長表彰】◆(株)市原工業



【土浦土木事務所建設技術者所長表彰】

◆田寄雄士（池田技建工業(株)）◆深澤明（谷原建設(株)）

◆真家孝一（市村土建(株)）◆白田二郎（白田組土木(株)）

◆坪井亮（福井建設(株)）◆嶋田龍樹（ヤシマ建設(株)）

◆須貝望美（日東エンジニアリング(株)）◆田中卓（原

信田建設(株)）◆坂本優作（(株)高田工務店）◆成田康

隆（(株)新みらい）◆齋藤久雄（(株)霞工業）◆海老原

浩三（佐々木建設(株)）◆上野徳則（(株)ムラノ）◆山

口実（(株)岡崎土建）◆戸井田昇（(株)木村工務店）◆

今野史哉（北都建設工業(株)）◆中島浩二（(株)赤塚土

木興業）◆鈴木一也（(株)大和田建設）◆田中祐介（豊

藤建設(株)）◆須賀田和恵（千代田建設(株)）◆常盤均（(株)

ノジリ土建）◆白井友洋（(株)市原工業）

令和5年度

茨城県技術者表彰受賞者

（1月表彰分）
※受賞者（企業名）
敬称略

【大子工務所長表彰】

※主任（監理）技術者表彰

◆新山直（牛木建設(株)）

◆牛木直成（(株)藤田工務店）

◆小野瀬昭一（(有)大沢工務店）

◆飯田明（(株)藤田工務店）

◆鈴木一政（吉原建設工業(株)）

※現場代理人表彰

◆益子英樹（(株)大子造園土木）

◆本田義生（牛木建設(株)）

【流域下水道事務所長表彰】

◆立桶雅彦（佐々木建設(株)）

◆戸井田真一（(株)高野工務店）

【鹿島港湾事務所長表彰】

◆竹中勇貴（常総開発工業(株)）

◆齊藤栄一（幸武建設(株)）

◆柳堀享（大勝建設(株)）

【鹿島下水道事務所長表彰】

◆阪本真一（常総開発工業(株)）

◆高橋直秀（誠殖産工業(株)）

【県北農林事務所長表彰】

※土地改良部門管内

◆高橋栄（(株)瀧工務店）

◆寺門力也（(株)梅原工務店）

◆新江龍一（珂北開発(株)）

※高萩土地改良事務所管内

◆齊藤慎弥（(株)千葉工務店）

建設業労働災害
防止協会茨城県支部

令和6年度4月～6月講習会開催予定表

月	日		曜日		講習名	会場	備考
4	4	5	木	金	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	8	9	月	火	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	11	12	木	金	建築物石綿含有建材調査者（一般）	茨城県建設技術研修センター	
	16		火		熱中症予防管理者教育	鹿嶋市商工会館	
	18		木		刈払機取扱作業者	建荷協研修センター	
	19		金		フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	24	25	水	木	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	26		金				
30		火		施工管理者のための足場点検実務者研修	茨城県建設技術研修センター		
5	9	10	木	金	足場作業主任者	鹿嶋市商工会館	
	13	14	月	火	木造作業主任者	建荷協研修センター	
	15	16	水	木	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)
	17		金				(実技)
	20	21	月	火	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)(実技)
22		水		(実技)			
6	3	4	月	火	型枠作業主任者	建荷協研修センター	
	6	7	木	金	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	10	11	月	火	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部	
	14		金		刈払機取扱作業者	石毛建設会館	
	18	19	火	水	職長・安全衛生責任者教育	鹿嶋市商工会館	
	24		月		刈払機取扱作業者	建荷協研修センター	
	26	27	水	木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)(実技)
	28		金				(実技)
27	28	木	金	建築物石綿含有建材調査者（一般）	茨城県建設技術研修センター		

「建設企業ガイドブック2024」作成 担い手の確保に活用を！

本会は、担い手の確保・若年者の入職促進を目的に、本会の主要会員企業約100社を紹介する「いばらき建設企業ガイドブック2024」を作成しました。約3000部を発行し、県内の高校や大学、専門学校をはじめ、関東を中心に約300校に配布します。

ガイドブックでは、主要建設企業につきまして、会社概要、代表メッセージ、会社のPR、施工事例、先輩社員インタビューを掲載。職業体験やインターンシップ受け入れなども紹介しています。

ガイドブックは、本会のホームページ「いばらき建設業就職応援サイト」にも掲載しています。



作成したガイドブック

CCI
茨城

那珂一中で建設体験 学習の倉庫完成



生徒代表などくす玉開披を行いました

本会も加入している茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）は1月25日、那珂市立第一中学校で建設体験学習の校倉造倉庫引渡式を開催。本会の常陸大宮支部が目録を贈呈し、くす玉開披と記念撮影を行い、完成を祝いました。

あいさつで県土木部の梅澤信行技術管理統括監兼検査指導課長は「建設業体験を思い出し、進路を決める参考にしてほしい」、常陸大宮支部の高野潔支部長は「1つずつ順序だてて組み立てていく体験は、将来の役に立つと思う」、建設未来協議会の栗山秀樹副会長は「生活と建設の結びつきを感じてほしい」とエールを送りました。

手塚浩志校長は「貴重な体験に感謝します」、生徒代表の桑澤快さんは「ものづくりや建築の楽しさとやりがいを学ぶことができました」とあいさつ。体験学習では、1年生116人がログハウスの基礎組立やドローン操縦などを行いました。

女性目線で現場作りを 竜ヶ崎支部内の建設未来協、建女ひばり会 県と意見交換



建設未来協議会と建女ひばり会の竜ヶ崎地区のメンバーは1月26日、茨城県竜ヶ崎工事事務所との合同意見交換会を開催。女性目線で親しみある工事現場の作り方をテーマに、女性技術者の現場紹介や情報交換を行いました。竜ヶ崎工事の野島泰久所長、本会竜ヶ崎支部の細谷武史支部長、建設未来協議会の栗山秀樹副会長、建女ひばり会の柳瀬香織会長があいさつし、充実した意見交換に期待を寄せました。



年度末労働災害防止強調月間

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル **0120 - 913 - 931**

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー